

会 議 録

1 会議名

令和元年度第3回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

- ・地域活動支援事業について（公開）
- ・地域の課題について（公開）

3 開催日時

令和元年6月24日（月）午後6時30分から午後7時50分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、小林奎一、佐藤寿美子、
佐藤峰生、坪田 剛、荷屋和夫、平野宏一、山田ヒロ子、横田正美
（欠席2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、霜越臨時職員

8 発言の内容

【滝澤センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：横田委員に依頼

議題【協議事項】地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

前回の採択審査において不採択となった「谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業」、
『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業』について、事務局で確認した事項について説明させていただく。

- ・確認した事項を報告

2つの事業ともに追加募集で再度提案したいというお話をいただいている。

【高橋会長】

- ・「谷浜・桑取地区高齢者いきいき支援事業」に対し質疑を求めるが意見等はなし
次に『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業』についてはどうか。

【荷屋委員】

事業がスタートした時の実行委員長から3年くらい続けていただき、きちんと事業として成り立たせてから交代していただかないとこのような問題が出てくる。

最初から実行委員会を発足して行ってきていれば、このような問題も出なかったのではないか。

【高橋会長】

地元だけでは難しいので市からもアドバイスをもらいながら、実行委員会とトレイルランナーズ（主催者）が話し合いできるようにしていけないのではないか。

地元として事業に参加されている横田委員と佐藤寿美子委員はどうか。

【横田委員】

会議は平日に行っているが、仕事をしているため会議に出席したことがない。

【佐藤寿美子委員】

私は市が負担している経費について、把握していなかった。

そして、先ほども出ていたが、今年から実行委員長も代わってしまった。全く分からない人になってしまって何故代わってしまったのかも疑問であった。

【高橋会長】

最初から市と実行委員会とトレイルランナーズの関係が明確になっていれば理解しやすかったと思う。

【滝澤センター長】

本来であれば、実行委員会が全ての運営を行い、トレイルランナーズへ委託すれば良いことだとは思いますが、先にトレイル大会がスタートし、その後に実行委員会が立ち上が

ったので、地元の皆さんにすぐにお願ひできる部分とできない部分があった。市とトレイルランナーズと実行委員会の収支、並びに役割分担が分からないと委員の皆さんも判断しにくいという話は提案団体と担当課へも伝えてある。

【高橋会長】

追加募集で正式に提出された際によく審議してほしい。

ほかに何かあるか。

【坪田委員】

先日、山形県沖で地震があったが、災害時に各町内会館が避難所になっている。今回の地震では停電がなかったため照明が使えた中での避難だったが、もし停電になった場合のための発電機や防災グッズ、避難状況等の情報源として、テレビ等を整備することはできないかと感じた。地域活動支援事業の補助金に残額があるので全町内に備蓄品等の数を確認していただき、足りないもの等があれば当補助金を使って整備できるのではないかと思った。そして、長期の間、避難所生活をしなければいけない時もあるかもしれない。その際に使用する血圧計等の医療器具も整備できないか考えた。

ただ、どのように提案していったらいいのかが分からない部分もあるが、せつかくの補助金なので有効活用できればと思いお話しさせていただいた。

【小林委員】

各町内によって状況は違うと思うので、一律で全ての町内会館に揃える必要はないと思う。

【高橋会長】

各地区に拠点として使われている避難所があると思う。全避難所に整備するのは難しいかもしれないが、各拠点に必要なものを整備するというのも一つのアイデアかもしれない。

【小林委員】

先ほど事務局から説明していただいた『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業についてだが、追加事業で提案されるのであれば、市と実行委員会主催者であるトレイルランナーズで三者協議を行い、費用の分担をきちんと話し合ってから提案していただきたい。

そして、安全面の問題である。事故があった時、どこが責任を持つのかをきちんと話し合してほしい。

実行委員会が全てを把握していれば申請する際もやりやすいと思っている。

【滝澤センター長】

すぐに対応することは難しいかもしれないが、事務局からも提案団体へ伝えてさせていただく。

【高橋会長】

次に【協議事項】地域の課題について、事務局へ説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・「自主的審議事項」や「地域を元気にするために必要な提案事業」について説明
- ・坪田委員の意見を受け、他区の事例を報告

【高橋会長】

地域の課題や取組の仕方等について、委員へ意見を求める。

【佐藤峰雄委員】

地域活動支援事業の提案がなかなか出てこないということがある。例えば、毎年実施されている提案事業があると思うが、それらをコラボすることはできないか。この地区には神社が数か所あるが、それをマップにして御朱印を集めてもらうようなイベントをしたり、トレイル大会の後に夜釣りの大会をしたり、城ヶ峰砦でハイキングの計画等をしてみてはどうかと考えている。これらの事業を縦軸とし、横軸になるようなものをコラボしていく。具体例としては、城ヶ峰砦の整備事業から「ガイドマップ」という発想が生まれた。そのマップをトレイル大会の参加者へ配布し、谷浜・桑取区のことをもっと知ってもらうということはどうか考えている。

何かの事業をやる際に他のイベントもすることで、さらに良い発想が生まれてくるのではないか。そして、地域協議会として来年、再来年に繋がる事業を企画して、その企画に肉付けする形の提案であればアイデアも出やすいかもしれない。

【高橋会長】

問題は、誰がその提案をするかである。

【佐藤峰雄委員】

地域協議会として出た案を団体に投げ掛けてみてはどうか。

【高橋会長】

個々の団体は、自分達の提案だけで精一杯だと思う。それをまとめる組織を作るくらいでないといけない。

【佐藤峰雄委員】

せっかく人が集まっているので、その人たちにPRしたり、何かの企画に参加してもらったりできないか、ということである。

【高橋会長】

呼び掛けるための核をどのように作るかである。

【坪田委員】

佐藤峰雄委員は地域協議会でも知識を出していただいて、検討し、支援の糸口にし、谷浜・桑取区で広域かつ多様化した事業を行いたいということをおっしゃっているのだと認識している。地域からそれぞれ地域協議会委員が出ているが、各町内には何か提案できる組織があるのかもしれない。私自身も町内のことは分かっているが隣の町内のことは分かっていない。

【高橋会長】

おっしゃっていることは分かるが、城ヶ峰の団体の皆さんに城ヶ峰砦の整備事業をしてもらい、ガイドマップを作成し、その上ほかの団体とコラボして何かしてほしいと言っても厳しいのではないかと。全町内を把握している町内会長協議会等で何か提案できないかと思っている。

【坪田委員】

今年から谷浜地区町内会長連絡協議会の会長を任されているが、年1回の会議だけでは何も話し合いができない。そのため、桑取地区町内会長協議会の会長と、もう少し会議の開催を増やさないかと相談させていただこうと思っている。

【滝澤センター長】

先ほど佐藤峰雄委員がおっしゃったコラボについてだが、いろいろな団体が協力し合って地域のために活動していくということが当補助金の一番の理想である。ただ、高橋会長がおっしゃった誰がコラボを仕掛けるかである。提案団体は自分たちのできる精一杯のことを提案してくるので、さらに他の提案をお願いしても厳しいところがある。谷浜・桑取区は地域活動支援事業の事前説明会を行うと大勢集まっていたが、実際の提案は少ない傾向にある。

【高橋会長】

各地区の町内会長協議会や谷浜・桑取地域振興協議会が区内全体を網羅していると思うので、そちらの団体で何かできないかと思っている。

【佐藤寿美子委員】

各地域の祭りや行事の情報が入ってこない。お互いの情報が分かれば地域間で交流ができると思う。案内文書を回覧しただけでは、なかなか人は集まってくれない。

【高橋会長】

ガイドマップを提案していただいている団体が現在、資料集めとして各町内会や神社等を回って調べている。当区には多数の神社も点在しているので、まとめたものが載れば一つの資料として使えるのではないかと。

【安達副会長】

先ほどの坪田委員の意見についてだが、各町内の避難所に防災グッズ等がどれくらいあるのか調べてみてはどうか。また、各町内にどんな行事があるのかを一覧にまとめられないかと。

【坪田委員】

当町内の全体の避難場所が谷浜小学校になっている。10月に予定されている小・中学校合同文化祭があるが、現在の校長先生をはじめ先生方は何が備品としてあり、どれくらいの量が保管されているのかを把握されていない。そうすると町内の方々も分からないと思うので、文化祭の際にそれを公開し、全体規模の避難訓練を行ってはどうかという提案が出ている。このような機会に各町内でも防災関連の備品をチェックするかもしれない。

【高橋会長】

本日出していただいた意見は谷浜地区町内会長連絡協議会や桑取地区町内会長協議会へ投げ掛けてみて連携していくのも良いのかもしれない。

【小林委員】

人口減少の課題もあるが、プライバシーの問題もあり、難しい部分もある。だが、一番大事な話であり、町内会も維持できなくなってくれば、町内会同士が合併するという事もあると思う。

【平野委員】

人口減少や世帯数の確認等については、プライバシーの問題が出てくるので地域協議会で話し合いを行うのは難しいと思っており、市へお願いするしかないのではないかと。

【高橋会長】

今後の課題については、市へ、どのようにお願いするのかということも含めて検討し

ていきたいと思う。

【安達副会長】

以前、桑取川の水源地へ視察に行きたいとか、今は上水道ではなく、発電所に流れているという話も聞いた。そういったことについても、これから協議をできればと思っている。

【高橋会長】

桑取川の視察については、上越利水事務所が参加者を募り、申し込みをした人を対象に開催している。

【荷屋委員】

上越利水事務所が視察を行っているが、周知されていないことも確かである。

そして、先ほど坪田委員がおっしゃっていたが、防災訓練はとても重要だと思っている。有事がないことが一番だが、防災訓練や避難訓練を重ねることで自然と体が動くと思っているため、継続して行っていただきたい。

【高橋会長】

以上で、**【協議事項】**について終了とする。

次に、「その他」について、事務局から説明を求める。

【滝澤センター長】

今回の協議会は地域活動支援事業追加募集の提案に対する事前の全体協議をお願いする。日程については後日、アンケートを取り、決まり次第連絡させていただく。

【高橋会長】

- ・会議の終了を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。